

～明日(3/5)明後日(3/6)は、県立一般入試 3年生頑張り！～

「あのときもっとチャレンジをすればよかった、と思うのは嫌なので、その前に全力を出し切っておく。」 (ユーチューバー HIKAKINさんの言葉)

3年生は、4月から受験生として、1年間自分の将来の進路に向かって努力してきました。いよいよ県立一般入試となりました。2日目(3/6)には、面接試験も実施されます。面接練習では、志望動機をしっかりと言えています。高校でどんなことをやりたいかを高校の先生方にアピールができるものと確信しています。

試験前日に言えることは、HIKAKINさんの言葉をかりて、「まだ、試験は終わっていません。持っている力を全力で出し切ることに専念してほしい。」とエールを送ります。

2年生は、いよいよ、1年を切ります。今年度の受験生を見ていて、「なぜ、この高校に行きたいか。」この質問に、原稿用紙1枚の量を熱く語れる人が多くいます。実際に、どの程度を書けるかを試してみてください。1年後には、現在の3年生を超えてほしいと願っています。

～ピンクシャツデー(2/28 2月最終水曜日)実施～

本校の人権委員会が、いじめを撲滅するために、ピンクシャツデーの取組を実施しました。カナダではピンクのシャツを着たりピンク色のものを身につけたりすることで「いじめ反対」の意思表示をする日をピンクシャツデーとして毎年2月の最終水曜日としています。学校・企業・個人を含めた賛同者の取組となっているそうです。



本校では、『いじめ(からかい・おどし文句・悪口・仲間はずれ・無視・暴力)はやめよう』『洗いたてのシャツのようにきれいな心で人にやさしくしよう。』と書かれたボードに一人一人が書きたいじめ撲滅の思いを記入して飾りました。記入された言葉には、「いじめも差別もなくそう。」「一人一人の個性を尊重しよう。」とありました。また、28日の朝に配布されたピンクのリボンを胸につける取組を行いました。

唐津地区学童美術展(立体部門)で入賞

左 野崎迪也作 右 岩田佳東作

県準特選 3年 川地 慎 2年 岩田佳東 1年 野崎 迪也

唐津地区入選

- 3年 井手清之介 今村涼菜 北方慧次郎 末吉純佳 福嶋飛羽 松永晴翔
- 2年 吉川百音 浜崎由花 宮崎樹菜 宮崎萌衣
- 1年 上野良太 堀川結衣 本多柚希 森園 実桜 山口 權 山口一樹

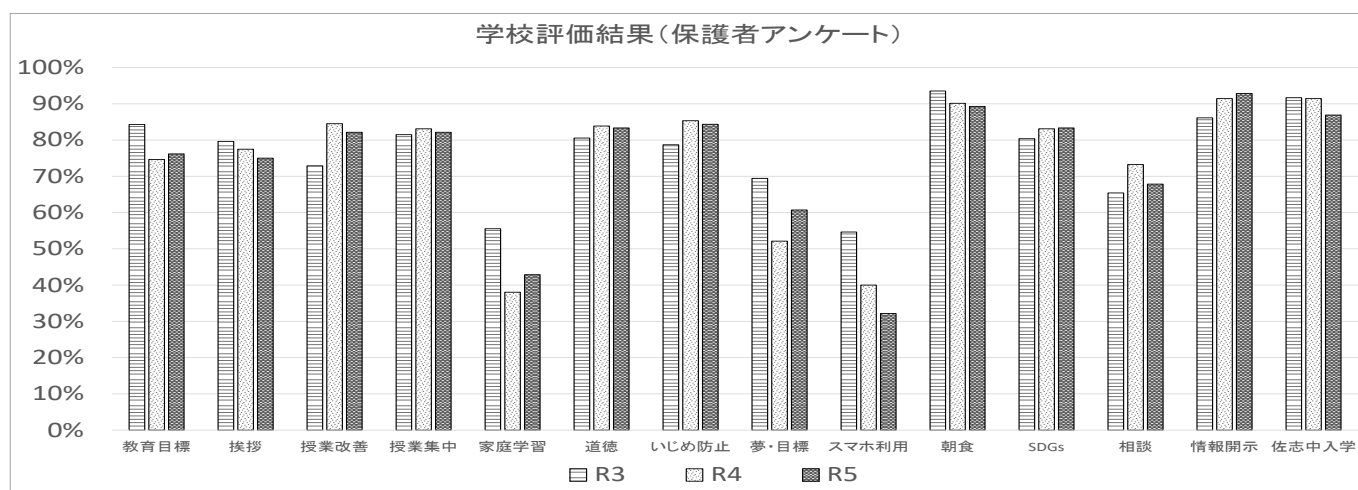
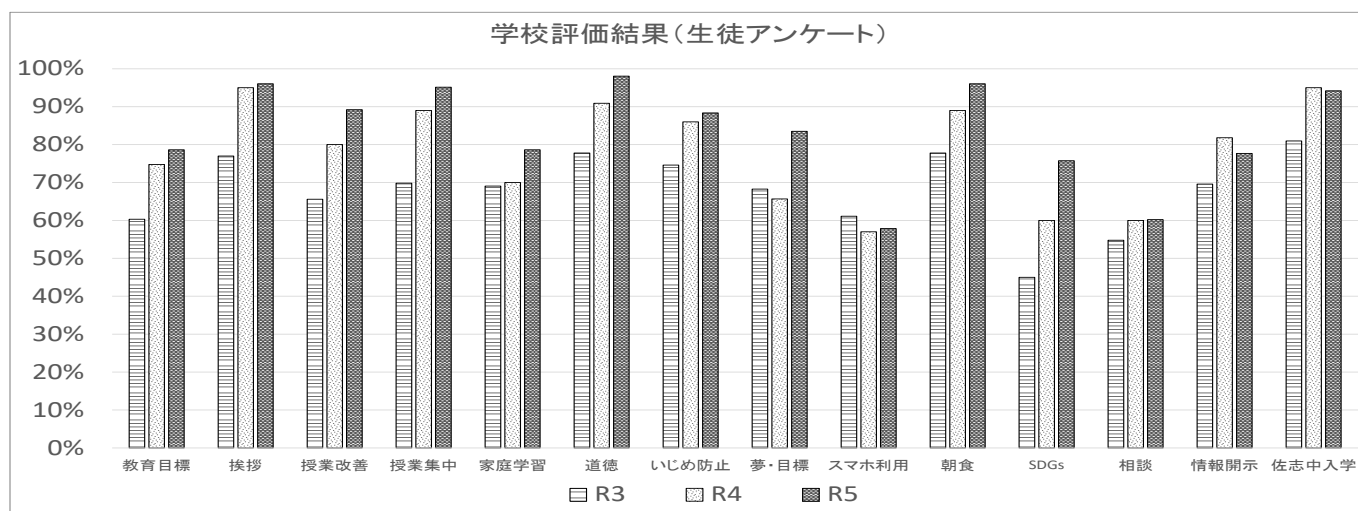


3年生保護者の皆様へ 1年間ご協力ありがとうございました。今後とも佐志中学校を応援ください。

～学校評価アンケートのご協力ありがとうございました！～

今回アンケートは、昨年同様 Forms での回答を行いました。ご協力に感謝します。生徒・保護者アンケートを令和3年度から3か年分を「1 当てはまる」「2 だいたいあてはまる」の合計を質問ごとにパーセントで示しています。教育目標について説明を加えると、生徒には60%から80%と3年間で浸透してきているが、保護者には85%から75%と減少してしまっているになります。分析結果と今後の方針を書いています。

番号	質問	グラフ表示	番号	質問	グラフ表示
1	わたしは、学校の教育目標を、見たり聞いたりしたことがある。	教育目標	8	子どもは、夢または希望をもち、その実現に向けて努力できている。	夢・目標
2	子どもは、時間を守り、よくあいさつをしている。	挨拶	9	子どもは、毎日、スマホ等の利用時間を2時間以内を守り、7時間以上の睡眠がとれている。	スマホ利用
3	学校は、学習内容が理解できるように授業改善や工夫を行っている。	授業改善	10	子どもは、毎日、朝食を食べて登校している。	朝食
4	子どもは、一生懸命に授業に参加している。	授業集中	11	学校は、SDG'sを意図した教育に積極的に取り組んでいる。	SDGs
5	子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	家庭学習	12	子どもは、先生に、悩みや心配事を相談したり話を聞いてもらったりしている。	相談
6	子どもは、道徳の授業などを通して、豊かな心が育っている。	道徳	13	学校は、各種便りやはなまる連絡帳、ホームページを利用して必要な情報を送信したり開示したりしている。	情報開示
7	学校は、いじめ問題について、未然防止や早期発見・早期対応に取り組んでいる。	いじめ防止	14	子どもを、佐志中学校に入学させてよかった。	佐志中入学



分析結果【課題】

- ①生徒・保護者ともに、家庭学習に課題があると捉えている。
- ②スマホ利用の時間が増え、睡眠が十分にとれていない。
- ③夢・目標は、生徒は85%になっているが、保護者は60%に留まっている。

今後の方針

【課題】の解決に努めるとともに、より一層情報発信を行い、生徒・保護者ともに、佐志中学校に入学してよかったと思える学校づくりを進める。